

3月度議員懇談会

関西経済と国の産業政策について懇談



3月度議員懇談会を3月1日午前11時から福井商工会議所ビルで開催し、78名が出席した。

開会にあたり八木会頭は、「新型コロナの影響が引き続き企業活動に大きな影響を与えているが、一方で新たな社会に向け事業戦略を見直し、実行に移す経営者も増えている。福井商工会議所としても、福井県・福井市と協力しながら会員事業所に対し様々なサポートを積極的に提供していきたい」と述べ、4月13日からシヨッピングセンターを会場に実施される新型コロナワクチン3回目職域共同接種の活用を呼び掛けた。また、ロシアのウクライナ侵攻を受けて、現地の在留邦人や経済的影響を憂慮した。



続いて、近畿経済産業局の伊吹英明

局長より「関西経済の未来に向けて」というテーマで講演が行われた。

伊吹局長は「関西経済は国内GDPの17%を占めており、コロナ禍においても輸出は過去最高を記録している。大学・行政・企業間の距離が近く、優れた大学・研究施設も集中しており、産学交流も盛んに行われている。グローバルニッチトップ企業も全国の27%が関西エリアに集中し、モノづくりの根幹を支える技術が集積している」と関西経済の特徴について分析した。

続いて、経済産業省（近畿経済産業局）の今後の取組みについて「新型コロナで影響を受けた中小企業の支援はもちろんだが、成長を続けられる産業構造の構築に向けて特にDX、グリーン技術（再生可能エネルギー）等に力を入れていく」と述べた。

まず、中小企業支援施策として、1月末から受付が開始された事業復活支援金を始め、令和4年以降も継続される事業再構築補助金やものづくり補助金、小規模事業者持続化補助金、IT補助金について詳細を説明。また、コロナ禍によってこれまでなかった課題が表出したが、これらを解決に導くのがDXであり、関西地域においてITベンダーやユーザー企業、支援機関



令和4年度の産業政策について説明する近畿経済産業局の伊吹英明局長

が共同参画してプラットフォームを立ち上げた事例を紹介した。さらに、2030年の国内における温室効果ガス排出量46%減を目指して、産業界は投資家やサプライチェーン全体から目標達成を求められてくるとし、脱炭素化された電力の利用や省エネルギー設備の更新にあたっての支援策活用を呼び掛けた。

最後に伊吹局長は、2025年に大阪で開催される万博について「関西の自治体と企業が力を合わせ、未来を感じさせる素晴らしいものにしてほしい」と意気込みを語った。

【議員異動】（敬称略）

福井コンピュータホールディングス(株)

(旧) 林 治克 (社長)

(新) 佐藤 浩一 (社長)

事業開催結果

2.3

確定申告もこれで安心！1日で
まるっとわかるやさしい経理セミナー
担当／金融・会計相談課



経理初心者向けに個人事業主が支払う税金から確定申告書の作成方法に至るまでの要点を1日で習得するセミナーを開催。受講者は所得税等の確定申告を前に、申告書や決算書の作成に関する実践的な練習問題に取り組み、講師に質問をしながら理解を深めた。

受講者／59名

会場／福井商工会議所ビル 会議室 AB
(オンラインとのハイブリッド開催)

1.31

日商簿記検定1級
合格証書伝達式
担当／創業・経営支援課



第159回日商簿記検定1級の合格者伝達式を開催。高見専務理事が合格者7名に対し合格証書を授与した。なお、一挙7名の合格は8年ぶりのことである。合格者の橋爪さんは「仕事と家庭を両立し計画的に勉強に取り組んだ。合格を勝ち取ったことは自信になる」と語った。

合格者／7名

会場／福井商工会議所ビル 役員会議室

2.15

企業経営に活かす
SDGs セミナー
担当／創業・経営支援課



講師の柏崎氏は、SDGs（持続可能な開発目標）とCSR（企業の社会的責任）の違いに触れ、「企業単位ではなく、事業レベルで取り組める事を検討すべき」と解説した。また、地方酒造メーカーが地元米農家、畜産農家と連携し新商品開発に取り組んだ事例を紹介した。

受講者／50名

会場／福井商工会議所ビル コンベンションホール
(オンラインとのハイブリッド開催)

2.7

新春経済講演会
担当／金融・会計相談課



今年の経済を展望する恒例の講演会を開催。講師の永濱利廣(株)第一生命経済研究所首席エコノミストは、新型コロナの経口薬普及や行動制約緩和で個人消費が拡大し、国内景気は持ち直すとした一方で、リスクとして中国経済の減速や日銀の金融政策転換の可能性等を指摘した。

受講者／200名

会場／福井商工会議所ビル コンベンションホール
(オンラインとのハイブリッド開催)